

号外

令和7年度
第2号

Tobu通信

東 部 教 育 局
東教発 R7.5.26

美術館へGO！

豊かな表現力を育むために！ ～鳥取県立美術館を活用～

鳥取県立美術館では、県内全ての小学校・義務教育学校・特別支援学校小学部の4年生を毎年、美術館へ招待する「MUSEUM START BUS」を実施しています。今号外では、「MUSEUM START BUS」を活用して現在開催中の企画展「アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術」を訪れた、鳥取市立湖山小学校4年生の対話鑑賞の様子について紹介します。

オリエンテーション



館内でのマナーを確認後、班ごとにファシリテーターと一緒にみんなで対話をしながら作品鑑賞開始！

① みる（時間をかけてじっくりと見る）

② 話す（発見したことや感じたことなどを言葉にする）

③ 聞く（共感したり感じ方の違いを楽しんだりする）

④ 考える（どうしてそう感じたのか、その理由や根拠を考える）



同じ絵を見ても、人によって見え方が違うね。

気づきを言葉にして対話をする中で、子どもたちの絵の見方が徐々に変わっていきました。

上と下で色が全然違う。

何だか怖い感じがする。

カメレオン？クジャク？

なぜこの作品を作ったのかな・・・

学校の図画工作の時間にも、なぜこの人はこう表現したのかということを考えたいな。



たくさんのプラスチックごみで作品ができています！

身近なものにも価値があると言いたいのかも。



洗剤が入っていた箱なんだって！

美術館に来たことで、図画工作との違いやアートについて考え始めた子どももいるようです。



子どもたちは、本物の作品にじっくりと向き合い、友だちの考えも知る中で、想像したり、発見したりすることを通してたくさんのことに気づいています。

子どもたちは、対話をしながら作品を見ることで、鑑賞の視点を得たようです。また、他の作品を見る時にも、作品の見方が変わってきました。



発見！

じっくりと見て、思ったことを話したり、友だちの意見を聞いたりすることで、作者の気持ちが伝わってきた！

本物の作品と出会い、自分の目でじっくりと見つめ、そこで発見したことや感じたことを素直な言葉で友だちと共有しながら鑑賞することで、自分一人では気づくことができなかった視点に気づき、見方や感じ方を広げることができます。子どもたちの思考力やコミュニケーション力といったこれからの時代を生き抜くために必要な力が育まれます。また、自己肯定感の向上も期待できます。

次のページへ続きます

県立美術館

アウトリーチ事業の活用で豊かな表現力育成を！ ～鳥取県立美術館「おとどけコレクション」他～



鳥取県立美術館では、「おとどけコレクション」というアウトリーチ事業を実施しています。この事業は、美術館の学芸スタッフが、学校や地域の様々な施設に出かけてワークショップやレクチャーなどを行う事業です。特に、様々な理由で美術館へ来館することが難しい方々にアートに触れる機会を提供するものです。

①ワークショップ



素材にふれ、活動すること自体を楽しむ「体験系ワークショップ」と、目的をもって作品を制作することを楽しむ「ものづくり系ワークショップ」があります。

対象や年齢等、ニーズに合わせた内容を相談させていただき、活動を実施します。

②アーティストの世界に ふれてみよう



学校を会場としてアーティストと出会い、作品についての話を聞いたり、レクチャーを受けて制作したりするプログラムです。ニーズに合わせて講師と内容を提案します。

当日はアーティストと教育普及担当のスタッフが学校を訪問します。

③おとどけコレクション



県立美術館のコレクションを各施設や学校に「おとどけ」して、一日限りの展覧会を開催するプログラムです。

特別支援学校、高齢者や障がい者福祉施設を優先して実施します。
（「おとどけコレクション」のみ、7月～12月の期間で日程調整を行います。）

④鑑賞に関する活動



学校における鑑賞授業の相談対応やデジタル鑑賞教育コンテンツを使った美術館との連携授業などを行います。

学校以外からの依頼についても、目的等を伺い、活動内容を提案します。

⑤レクチャー・研修会の実施



県立美術館の「アート・ラーニング・ラボ」に関連するレクチャー、「対話鑑賞」や「朝鑑賞」をテーマとした研修会、図工・美術等の教科に関わる研修などを行います。

詳しくは県立美術館のHPへ！



<https://tottori-moa.jp/initiative/dissemination/#sec02>

申込期限

令和7年

5月30日(金)

※申込み多数の場合は、お断りさせていただく場合があります。ご了承ください。



受入可能期間／件数

【第1期】8月 1日(金)～8月10日(日)／**3件程度**

【第2期】1月15日(木)～2月15日(日)／**4件程度**

鳥取県立美術館は、様々な事業を活用し、子どもたちの豊かな表現力を養う支援をしています。「おとどけコレクション」事業については、受入可能期間や件数に限りがありますが、県立美術館のホームページから問合せ、申込みをお願いします。